

12人のチェリスト

プロフィール

アルトウンベク ダスタン (Altynbek Dastan)

7歳よりチェロを始め、数々の国際コンクールなどで賞を収める。

カザフスタン国立音楽大学、同大学院卒業。同大学の講師を一年間務め、渡独。MagdeburgのYouth Symphony Orchestraと室内楽などで献身を積む。2007年に渡印。インド国立交響楽団の団員を務め、後進の指導にも力を注ぐ。2011年来日。拠点を関西に置きオーケストラ賛助団員や、室内楽など様々な演奏活動を国内外問わず展開している。

池村佳子 (イケムラ ヨシコ)

第5回札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞受賞。第4回全日本ビバホールチェロコンクール第3位入賞。'99年、大阪中央ロータリークラブ創立15周年記念室内楽コンクールにおいて、弦楽四重奏でグランプリ受賞。京都市立芸術大学卒業と同時に、音楽学部賞、京都音楽協会賞受賞。在学中に、T.ザンデルリンク指揮、京都市立芸術大学音楽学部オーケストラと協演。大学院賞を得て京都市立芸術大学大学院研究科を修了。'01年度バロックザール賞受賞。

'09年まで兵庫県立西宮高等学校音楽科非常勤講師として後進の指導にあたる。

現在、「四次元三重奏団」「After hours session」などのメンバーを務めるほか、ソロ、室内楽の分野を中心に活動中。チェロを川畑善夫、上塚憲一、上村昇、藤原真理の各氏に、室内楽を岸邊百百雄、W.Jahn各氏に師事。

伊東 裕 (イトウ ユウ)

奈良県出身。6歳よりチェロを始める。日本演奏家コンクール小学生部門第1位、グランプリ受賞。泉の森ジュニアチェロコンクール小学生部門、中学生部門金賞。大阪国際音楽コンクール中学生部門第1位、2008第77回日本音楽コンクールチェロ部門第1位、生駒市市民功労賞受賞。小澤国際室内楽アカデミー、音楽塾オーケストラ、また中之島国際音楽祭、生駒国際音楽祭、武生国際音楽祭等に参加。2011年度ヤマハ音楽奨励学生。芸大にて福島賞受賞。斎藤建寛、向山佳絵子、山崎伸子各氏に師事。奈良県立奈良高校を経て、東京芸術大学卒。

北口大輔 (キタグチ ダイスケ)

東京芸術大学音楽学部、同大学院修士課程修了。在学中より数多くのコンクールに優勝・入賞し、アゼリア推薦音楽新人賞・大阪府舞台芸術新人賞などを受賞。

東京都交響楽団／九州交響楽団チェロ奏者を経て、日本センチュリー交響楽団／九州交響楽団首席チェロ奏者を勉め、近年は、無伴奏チェロでの定期的なリサイタルに取り組み高い評価を受けている。現在日本センチュリー交響楽団首席チェロ奏者。また、大阪音楽大学非常勤講師として後輩の指導に当たっている。

佐古健一(サコ ケンイチ)

1986年名古屋生まれ。3歳より才能教育研究会にてチェロを始める。

以来、名古屋やアメリカ・インディアナ州にてソロ・リサイタルを開催する他、国内外のオーケストラと協演を重ねる。第10回ビバホールチェロコンクール4位入賞。

これまでに中島顕、林峰男、R.アーン、花崎薫、山崎伸子の各氏に師事。京都大学文学部を卒業後、現在は東京芸術大学大学院修士課程に在学中。

高木俊彦(タカギ トシヒコ)

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部を卒業。卒業時に同声会賞を受賞。在学中、奨学生としてパリ・エコール・ノルマル音楽院へ留学。ディプロマを取得。これまでに、チェロを林良一、河野文昭、アラン・ムニエの各氏に、室内楽を岡山潔、田中千香士、シャンター・ドゥ・ビュシーの各氏に師事。大阪国際音楽コンクール第3位、ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第3位など数々のコンクールにおいて入賞を果たす。現在、菊里高等学校音楽科非常勤講師として後進の指導にあたり、室内楽奏者として多くの演奏家と共演し、活発に演奏活動を行っている。今年5月には、ドイツのレリンゲン音楽祭にヴィブランテトリオとして招かれ、好評を博す。愛知室内オーケストラチェロ奏者。長久手市文化の家創造スタッフ。

辻本 玲(ツジモト レイ)

1982年生まれ。7歳よりチェロを始める。11歳まで米国在。東京芸術大学音楽学部器楽科を首席で卒業(アカンサス音楽賞受賞)。2003年、第72回日本音楽コンクール第2位「聴衆賞」受賞。ロームミュージックファンデーションより奨学金を得、2007年 シベリウスアカデミー、ベルン芸術大学に留学。2009年第2回ガスパールカサド国際チェロコンクール第3位入賞(日本人最高位)「日本人作品最優秀演奏賞」を受賞。2013年「第12回斎藤秀雄メモリアル基金賞」受賞。メタ ワッツ、オーランド コール、川元 適益、上村 昇、山崎伸子、アルト ノラス、アントニオ メネセスの各氏に師事。

2007年度青山音楽賞新人賞受賞。

ドナルド リッチャー (Donardo Litcher)

W.ストックング、S.ケイツにチェロを学んだのちに、ジュリアード音楽院でL.マンロウに師事、同音楽院の学士号を得ている。在学中首席ソリストとしてジュリアード管弦楽団をはじめ多くのオーケストラで演奏、録音活動を行い、またアスペン音楽祭等、各地の音楽祭にも招かれ演奏をしている。ニューヨークにおいてはニューヨークフィルハーモニックのエキストラ奏者として約2年間演奏し、同オーケストラの150周年記念ヨーロッパツアーに参加した。現在は京都市交響楽団のチェロ奏者を務める傍ら、各地で室内楽奏者、ソリストとして活躍している。

中西哲人(ナカニシ テツト)

1984京都生まれ、東京芸術大学附属高校・桐朋学園大学 音楽学部を経て2009年桐朋学園大学研究科を終了。チェロを松波恵子に師事。京都フランスアカデミーで、フィリップミュレの、なら国際音楽アカデミーで、チョーヨンチャンンのレッスンを、リスト音楽院セミナーでミクローシュベレーニのレッスンを受講。2006年第29回TIAA全日本クラシックコンサート優秀賞受賞、2007-2009年A席優秀者選抜による桐朋学園室内楽演奏会に出演。2013年東京文化会館にてリサイタル開催。

西谷牧人(ニシヤ マキト)

奈良県出身。5歳よりチェロを始める。東京藝術大学音楽学部を経て同大学院修了。2002年よりインディアナ大学にて研鑽を積み、2004年パフォーマーディプロマコースを修了。チェロを、杉山実、河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に、室内楽を漆原 啓子、店村 眞積、練木 繁夫、フェデリコ アゴスティーニに師事。2005年9月より 兵庫芸術文化センター管弦楽団入団。オーケストラや室内楽の演奏のほか、ソリストとしてジャンルを超えた演奏活動も行っている。2008年4月から東京交響楽団首席チェロ奏者、東京藝術大学非常勤講師。

福富祥子(フクトミ ショウコ)

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校、同大学を経て同大学大学院修了。2009年演奏家の心身の調和についての研究で博士号(音楽)を取得。ベルリン芸術大学演奏家コースを修了し、ドイツ国家演奏家資格を取得。ローマ国際室内楽コンクール第1位、ヨーロッパ国際音楽コンクールデュオ部門最高位等、受賞多数。現在、ソロ・室内楽等の分野で幅広く活動。東京芸術大学非常勤講師。

水谷川優子(ミヤガワ ユウコ)

祖父 近衛秀麿のすすめでチェロを始める。桐朋学園大学を経て、1996年ザルツブルクのモーツァルテウム音楽院修士課程修了、マギスタの称号を得る。第6回東京国際室内楽コンクールに優勝。これまでザルツブルク室内管弦楽団、ザルツブルク・ゾリステンの首席奏者を務め、極めて高い評価を獲得。歌心とテクニック、そして聴くものの心を大きく揺さぶる凜とした豊麗な音色で、着実にファン層を拡げている。

浅井順子(アサイ ノリコ)ソプラノ

神戸女学院大学音楽学部声楽専攻卒業、同研修生修了。大阪音楽大学専攻科で本山秀毅氏のもと合唱指揮を学ぶ。飯塚新人音楽コンクールグランプリ、パロマドオーロ(伊)国際室内音楽コンクール第2位(1位なし)と特別賞、第2回青山音楽賞、第17回京都芸術祭賞受賞。「椿姫」の主役など多数のオペラに出演する一方、「メサイヤ」「第九」などのソリストや録音・放送など幅広く活躍。アグリヴィー福沢、畑きみ子両女史に師事。京都市立音楽高校非常勤講師。関西二期会、神戸音楽家協会各会員。